

第1部

当センターについて

1-1 次世代医療構想センターとは	6
1-2 メンバー紹介	7
1-3 活動年表	11

1. 当センターについて

1-1 次世代医療構想センターとは

現在も進められている医療制度改革を前に、千葉県と千葉大学医部附属病院（以下、千葉大学病院）のより密な連携と協力が求められる。千葉県と千葉大学病院は、千葉県の寄附により千葉大学病院に、2019（令和元）年8月1日から2022（令和4）年3月31日までの期間に「千葉県寄附研究部門 次世代医療構想センター（以下、当センター）」を設置した。

当寄附研究部門の目的は、2025年以降の地域医療ニーズを踏まえて、

- ①医師確保対策と地域医療構想の実現に向けた取組を一体的に進めていくに当たり必要となるデータ分析
- ②大学及び地域の医療機関並びに県の3者が、地域医療の在り方を共通認識
- ③医師確保を含む地域医療の維持確保を進める体制を構築していくための取組検討を行うこととしている。

この目的を達成するため、約20名の構成員、「次世代医療構想部門」と「政策情報分析部門」の2部門の研究体制で（下図）、「政策医療分野」として位置づけられる、救急医療分野、産科医療分野、新生児医療分野、小児医療分野を対象に研究を行った。研究活動においては、地域の病院の現状及び課題の分析を進めるとともに、「効果的・効率的な医療提供体制」及び「特に地方部における生活圏単位で必要な病院機能の確保」という2つの視点から、4つの課題に取り組んだ。

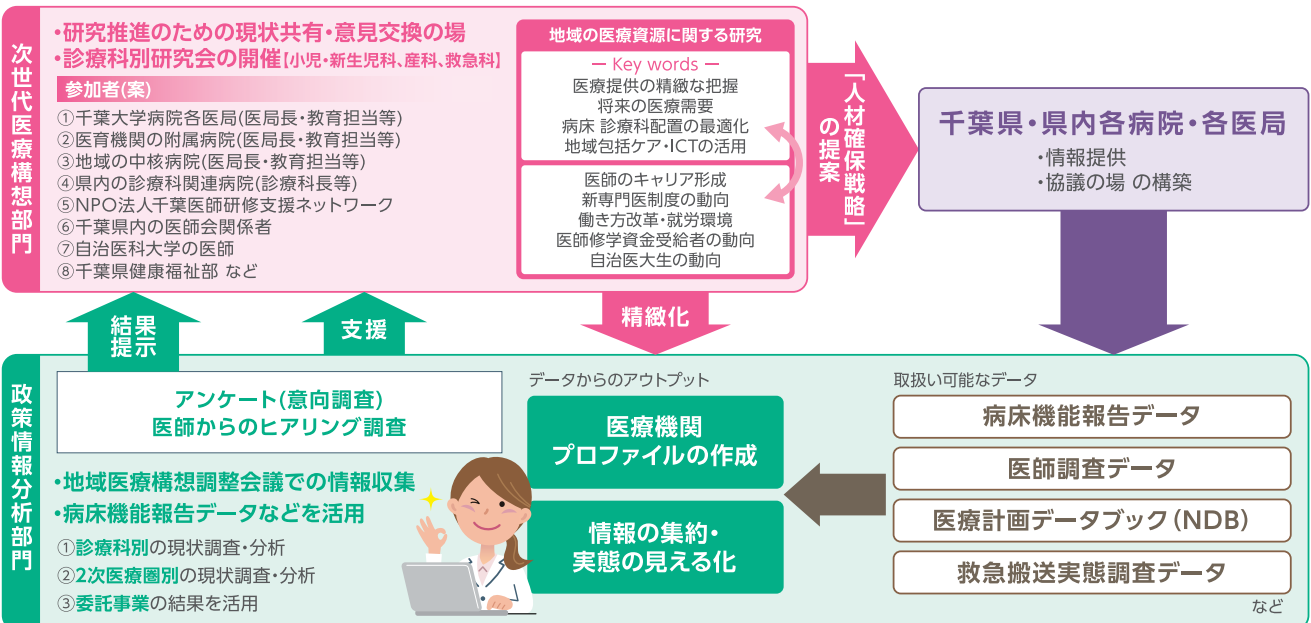
- ①各地域のニーズ、病院の機能、医師のキャリア形成の傾向を明確化するためのデータの収集と分析
- ②保健医療計画の整合を目指した意見交換の場を通じ、問題点の抽出
- ③働き方改革や情報通信技術（ICT）の進展を見据え、医療提供の効率化と新たな提供の在り方の検討
- ④今後の医療提供について医療を受ける側である地域住民に周知する方策と合意形成モデルの検討

これらの課題解決のため、県内の病院の医師、管理職の方との意見交換を行い、千葉大学病院、千葉県、地域の医療機関の3者との連携を図り、定性的・定量的な研究活動を通して得られた成果を千葉県地域医療構想の実現に向けた提言としてまとめた。これらの研究成果は当報告書などに集約し、当センターのブログサイトやSNSで発信している。

2022年4月からは各種研究資金を財源に「共同研究部門」として当センターが継続される見通しである。

次世代医療構想センター 研究計画の全体像

働き方改革・地域医療構想・新型コロナウイルス感染症対策を総合的に勘案した千葉県の政策医療研究



1-2 メンバー紹介

よしむらけんすけ
吉村健佑



職位 センター長・次世代医療構想部門長・特任教授

経歴 千葉大学医学部医学科卒業（医師）

東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻修了（公衆衛生学修士）

千葉大学大学院医学研究院博士課程修了（医学博士）

千葉県内で精神科医・産業医として勤務後、2015年厚生労働省に入省、保険局・医政局にて、医療情報分野の政策立案と制度設計に関わる。

2017年国立保健医療科学院・主任研究官としてレセプトデータを用いた政策研究に従事。

2018年4月より千葉大学病院 特任講師となり、職場のメンタルヘルス対策、働き方改革、病院経営・管理学の実務と教育研究を担当。

2019年8月より設置された、次世代医療構想センターのセンター長・特任教授に着任。

また千葉県医療整備課 医師確保・地域医療推進室で医師の確保と偏在対策に取り組んでいる。

専門 公衆衛生、医療政策、医療情報、精神保健学、産業保健

資格 医師、精神保健指定医、日本精神神経学会精神科専門医・指導医、労働衛生コンサルタント（保健衛生）、社会医学系専門医協会社会医学系専門医・指導医、日本医療情報学会医療情報技師、公認心理師

- 委員歴**
1. 日本精神神経学会 「精神科医・精神科医療の実態把握・将来計画に関する委員会」 委員 「オンライン精神科医療検討作業班」 委員
 2. 日本産業衛生学会 「遠隔産業衛生研究会」

さとうだいすけ
佐藤大介



職位 副センター長・政策情報分析部門長・特任准教授

経歴 慶應義塾大学 総合政策学部 卒業

東京医科歯科大学大学院 修士課程修了（医療管理政策学）

東京医科歯科大学大学院 医療政策情報学 博士課程修了（医学）

University of York Health economics for health care professional (postgraduate certificate)

2012年10月に東京大学医学部附属病院 企画情報運営部/企画経営部の助教として病院経営に従事。

2017年1月に厚生労働省 国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部 主任研究官として、

2018年4月には厚生労働省 国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部と

保健医療経済評価研究センターの主任研究官として研究に寄与。

2019年12月に千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター 特任准教授に着任し、

次世代医療構想センター 副センター長として政策情報分析部門にて地域医療構想、

働き方改革に関するデータ解析に取り組んでいる。

専門 医療情報学、医療経済評価学、病院管理学

ほりいさとこ
堀井聡子



職位 特任准教授

経歴 北里大学看護学部看護学科卒業（看護師・保健師）

聖路加国際大学博士後期課程修了（博士（看護学））

2012年より国立保健医療科学院生涯健康研究部（併）国際協力研究部主任研究官、2018年よりJICAベトナム新卒看護師のための臨床研修制度強化プロジェクトチーフアドバイザー、2020年より富山県立大学看護学部准教授を経て、2021年より現職。

産官学連携によるCities Changing Diabetes プロジェクトを通じ、自治体における2型糖尿病の予防に関する実証研究に従事。

専門 地域看護学、国際保健学

資格 保健師、看護師

あべこうき
阿部幸喜



職位 特任講師

経歴 浜松医科大学医学部卒業

聖路加国際病院にて初期研修後、聖隷三方原病院及び日本医科学千葉北総病院救命救急センターに従事。千葉徳洲会病院及び社会保険船橋中央病院にて整形外科をスペシャリティとして研修し、千葉大学大学院整形外科専攻にて研鑽し学位取得。2018年厚生労働省に人事交流し、政策統括官及び医政局にて行政に従事。2020年JCHO船橋中央病院整形外科に入職。2021年千葉大学医学部次世代医療構想センターに着任。

専門 整形外科領域

資格 医師、日本整形外科学会専門医、日本救急医学会専門医、診療情報管理士

1. 当センターについて

なるせひろし
成瀬浩史



職位 特任助教

担当 情報発信

経歴 近畿大学 生物理工学部 遺伝子工学科卒業

慶應義塾大学大学院 医学研究科 修士課程修了（医科学）

ベンチャー広告代理店で広告制作やコンサルティング企業で営業などの経験を経て、

2012年8月に株式会社協和企画に入社し、編集や企画などを担当。

2016年7月より官民人事交流制度で厚生労働省 健康局 結核感染症課に出向。

感染症にかかわる広報の企画立案にかかわる。1年間任期を延長し、3年間の任期を終了し、株式会社協和企画に帰任。

2019年8月の次世代医療構想センターの設立時より特任助教として着任し、現在に至る。

専門 広報戦略、ヘルスコミュニケーション

ひろさわあきこ
廣澤聡子



職位 特任助教

担当 産科領域

経歴 千葉大学医学部卒業（医師）

2010年より千葉市立海浜病院にて初期研修、千葉大学医学部附属病院にて後期研修を実施。

2012年以降 国保君津中央病院、千葉市立海浜病院、千葉メディカルセンターの産婦人科にて勤務。

2020年4月より 千葉大学医学部附属病院 周産期母性科に勤務し、

2021年4月次世代医療構想センターの特任助教に着任。

専門 産婦人科学

資格 医師、日本産科婦人科学会産婦人科専門医

とみながたかひろ
富永尚宏



職位 特任助教

担当 新生児科領域

経歴 杏林大学医学部卒業（医師）

2010年より慶應義塾大学病院で初期研修、同大学病院小児科で後期研修を実施。

2012年から、佐野厚生総合病院、足利赤十字病院、太田記念病院の小児科に勤務。

2015年以降は新生児科医として、慶應義塾大学病院ではNICUに勤務し、2016年以降、さいたま市立病院、君津中央

病院の新生児科に勤務。

2020年に千葉大学医学部附属病院小児科に勤務し、2021年7月次世代医療構想センターの特任助教に着任。千葉県内の

新生児科領域の医療提供について、持続可能な体制に向けた検討を行っている。

専門 小児科学、新生児科学

資格 医師、小児科専門医、日本周産期・新生児専門医

おかだれおな
岡田玲緒奈



職位 特任助教

担当 小児科領域

経歴 千葉大学医学部医学科卒業（医師）

千葉県内での初期臨床研修修了後、2012年より千葉大学医学部附属病院小児科で小児科専攻医研修を開始、2014年日

本小児科学会小児科専門医を取得した。以後、一般小児診療に加え、小児血液・腫瘍分野の診療に携わる。

2018年千葉大学大学院選択医学薬学専攻博士課程入学、マイクロRNAを起点としたがん遺伝子研究にて2021年3月博

士（医学）を取得。

2019年8月次世代医療構想センター特任助教に着任。地域医療構想、医師の働き方改革、少子化に対応する、千葉県内の

小児医療・新生児医療の整備に向けての検討を行っている。

専門 小児科学、小児血液・腫瘍学

資格 医師、日本小児科学会小児科専門医

さいとうだい き
齋藤大輝



職位 特任助教

担当 救急領域

経歴 千葉大学医学部医学科卒業（医師）

千葉大学大学院医学研究院博士課程在学中

山形県内での初期研修を修了後、2013年より千葉大学医学部附属病院 救急部・集中治療部（現 救急科・集中治療部）

での研修を開始。

2017年に日本救急医学会 救急科専門医取得。2021年日本集中治療医学会 集中治療専門医取得。

2019年より千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学に入学し、救急・重症病態でのmicro circulationについて

研究している。

2021年より次世代医療構想センターの特任助教に着任。

専門 救急医学、集中治療医学

資格 医師、日本救急医学会救急科専門医・ICLSインストラクター、日本集中治療医学会集中治療専門医、麻酔科標榜医、

日本医学シミュレーション学会CVCインストラクター

お が た け ん
緒方健



職位 特任研究員

経歴 鹿児島大学法文学部法学科卒業

2004年行政書士登録

2008年から2021年まで、公益財団法人くまもと産業支援財団、及び一般財団法人日本データ通信協会にてプライバシーマーク審査に従事。この間、2014～2017年に複数のISO認証審査機関にてISMS・ISO9001主任審査員も務める。2019年6月、株式会社キュア・アップ入社。個人情報保護管理者業務及び情報セキュリティマネジメント業務を担当。2020年10月、千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター 特任研究員に着任。

専門 情報セキュリティ、個人情報保護管理

資格 日本医療情報学会医療情報技師、行政書士、IPA高度情報処理技術者、ISMS審査員補、ISACA認定Certified Data Privacy Solution Engineer

委員歴 1. 特定非営利活動法人デジタル・フォレンジック研究会 医療分科会・日本語処理解析性能評価分科会 各委員 (2014～)
2. 国立研究開発法人 セキュリティアドバイザー (2016～)
3. 一般社団法人日本ユーザビリティ医療情報化推進協議会 (JUMP) ゲノムが作る新たな医療推進委員会 委員 (2017～)

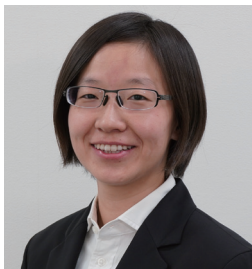
も り た み の り
森田美紀



職位 技術補佐員

担当 研究補佐

り ゃ ん ち ん い ん
梁晴茵



職位 技術補佐員

担当 研究補佐

お く し ま か よ こ
奥島佳代子



職位 事務補佐員

担当 総務・経理

か と う な ち
加藤那智



職位 事務補佐員

担当 総務・経理

こ ば や し だ い す け
小林大介



職位 客員准教授

所属 神戸大学大学院医学研究科 特命准教授

経歴 大阪大学経済学部経営学科 卒業

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻専門職学位課程 修了 (医療経済学分野)

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻博士後期課程 研究指導認定退学

大学卒業後、金融機関向けシステム会社にてシステムエンジニア・コンサルタント営業に従事。2013年10月に東京大学医学部附属病院国立大学病院データベースセンター特任助教として、国立大学病院の臨床データや財務データ分析に従事。2016年1月に名古屋大学医学部附属病院メディカルITセンター病院助教として、愛知県内の各病院から収集したDPCデータを元に地域医療提供体制についての分析に取り組む。2017年12月に神戸大学大学院医学研究科医療システム学分野医療経済・病院経営学部門特命准教授として、文部科学省補助事業として病院経営人材育成プログラムのコーディネータとして教育活動に従事しながら、神戸大学医学部附属病院内に情報分析推進室を立ち上げ、病院執行部会議構成員として大学病院経営に携わりながら、兵庫県内の各病院からDPCデータを収集し、地域医療構想の推進に向けた分析を行っている。

専門 医療経済学、病院管理学、医療情報学

委員歴 厚生労働省地域医療構想アドバイザー (兵庫県)、愛知県医師会地域医療政策研究機構委員会 委員、兵庫県医師会シンクタンク 委員、兵庫県病院構造改革委員会 委員、公立穴栗総合病院新病院整備検討委員会 副委員長、兵庫県診療情報管理研究会 会長、医療経済学会学術推進委員会 委員、日本医療マネジメント学会兵庫支部 世話人、第41回医療情報学連合大会プログラム委員長

は な わ し ん す け
埴真輔



職位 特任助教

所属 成田赤十字病院産婦人科 第3部長

経歴 秋田大学医学部医学科卒業

筑波大学附属病院初期臨床研修医

千葉大学大学院医学研究院博士課程修了 (医学博士)

筑波大学附属病院で初期臨床研修、成田赤十字病院で後期研修修了後、2013年より千葉大学医学研究院生殖医学教室で産婦人科の修練と、子宮体癌の研究に関わる。

2017年大和市立病院で腹腔鏡手術の国内留学

2018年4月より千葉大学医学研究院生殖医学教室助教、学生指導、腹腔鏡手術の普及に取り組む

2019年より、千葉県医師キャリアサポーターとして従事。

2019年4月より成田赤十字病院で、腹腔鏡手術のさらなる普及と、婦人科腫瘍治療にあたり、また次世代医療構想センター助教を併任し、千葉県周産期医療のさらなる発展を目指した取り組みを行う

専門 産婦人科学、婦人科腫瘍、低侵襲手術

資格 医師、日本産科婦人科学会産婦人科専門医、日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医 (母体・胎児)、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、母体保護法指定医、日本産科婦人科学会内視鏡技術認定医

委員歴 日本産科婦人科学会 未来委員会 若手委員 (2017-2018)

1. 当センターについて

うめざわこうがく
梅澤耕学



職位 客員研究員
所属 社会医療法人 緑泉会 米盛病院 救急科
経歴 旭川医科大学医学部医学科卒業
JA厚生連 帯広厚生病院 初期研修
湘南鎌倉総合病院 救急総合診療科 後期研修
湘南鎌倉総合病院 救急総合診療科 医長
2018年6月 厚生労働省健康局 医系技官
2018年8月 厚生労働省保険局 医系技官
2020年6月から現職。
専門 救急医学、中毒学
資格 医師、救急科専門医、トキシコロジスト

こばやしまさふみ
小林真史



職位 客員研究員
所属 ゆかりホームクリニック 院長
経歴 千葉大学医学部医学科卒業（医師）
千葉大学大学院医学研究院博士課程在学中
千葉大学医学部附属病院での初期臨床研修修了後、2011年より千葉大学医学部附属病院小児外科で専攻医研修を開始。
千葉県内の基幹病院および東京都立小児医療センターなどで勤務。
2015年より、横浜市立大学医学部臓器再生医学にてiPS細胞の研究に従事。
2018年より、千葉市内で在宅医療を担う、ふたば訪問クリニックにて副院長に就任。
小児在宅医療を展開しているあおぞら診療所、赤羽在宅クリニックにて研修。
2020年にライフサポートクリニック大網にて診療部長に就任し、2021年に、ゆかりホームクリニック 院長に就任。
専門 小児外科、在宅医療
資格 医師、外科専門医

とりはらゆうき
鳥原佑生



職位 客員研究員
経歴 2019年4月に株式会社 GENOVAに入社し、メディカルプロモーション事業部において医療機関向けの会計システムのソフトウェア開発や広報ツールの開発（医院向けオフィシャルホームページ作成・ポータルサイト・医療機関紹介動画作成）および医療専門職向けのICTサービス内容に関する需要調査に従事。
2021年10月に次世代医療構想センターの客員研究員に就任し、千葉県の医療機関向けのヒアリング調査、医学生・若手医師の今後のキャリアに関する意向調査を担当。

さいとうひろき
齋藤博樹



職位 客員研究員
経歴 2017年4月に株式会社 GENOVAに入社し、医療機関向けに広報戦略の提案営業、ホームページ・動画制作ディレクション、既存顧客サポート業務（webサイトアクセス解析、SEO、MEO対策等）、医療機関向け自動会計システム営業、社長室立ち上げ及び社長秘書業務、ICTを活用した医療提供の在り方に関する調査・企画業務を担当。
2019年12月より次世代医療構想センターへ客員研究員として就任し、主にヒアリング調査全般を担当。

1-3 活動年表

2019年度

	研究活動			出来事
8月	1日 当センター設立 1日 WEBサイト公開 23日 第6回定例会開催	24日 当センターお披露目会 28日 facebook 開始 28日 厚生労働省・千葉県の意見交換会開催	31日 千葉医療情報セミナーで講演	
9月	5日 千葉県医師会将来ビジョン委員会にて事業紹介 7日 自治医科大学千葉県夏季研修報告会で意見交換 7日 ちば医経塾で講義 12日 意見交換：今後の医療・介護のあり方に係る有識者	13日 第7回定例会開催 17日 当センター紹介パンフレット初版公開 17日 m3.comにて記事掲載 22日、23日 千葉県周産期母子医療センター見学ツアーセミナーに参加	27日 m3.comにて記事掲載 28日 日本ヘルスコミュニケーション学会に参加 28日 日本公共政策学会関西支部の第12回関西支部大会で講演	台風15号により千葉を中心に被害 424の公立・公的病院リスト発表
10月	4日 m3.comにて記事掲載 4日 東京医科歯科大学にて講演	18日 東京医科歯科大学 大学院歯医学総合研究科の東京都地域医療政策学講座で意見交換	23日 保健医療科学院にて講演 25日 第8回定例会開催 28日 医療政策セミナー告知開始	
11月	3日 home coming party で講演 8日 第9回定例会開催 9日 福井大学医学部で講演 9日 医師の勤務環境整備に関する講習会に参加 13日 千葉地域医療構想調整会議にオブザーバー参加 15日 第32回日本総合病院精神医学会総会にて講演	17日 ちば地域医療魅力発見セミナー2019に参加 17日 医師の働き方改革をみんなで考えるフォーラムに参加 18日 山武長生夷隅地域保健医療連携・地域医療構想調整会議にオブザーバー参加	19日 東葛南部地域保健医療連携・地域医療構想調整会議にオブザーバー参加 21日 東葛北部地域保健医療連携・地域医療構想調整会議にオブザーバー参加 22日 第10回定例会開催 26日 第1回医療政策セミナー開催	
12月	2日 当センター紹介パンフレット第2版公開 8日 第4回Chiba Clinical Skills Boot Camp 2019に参加	8日 第3回オンライン診療研究会に参加 10日 第2回医療政策セミナー開催	13日 第11回定例会開催 17日 第3回医療政策セミナー開催 ヒアリング調査：8件	
1月	10日 第12回定例会開催 11日 病院見学ツアー（主催：千葉県健康福祉部 医療整備課）に参加 14日 第4回医療政策セミナー開催	20日 小児臨床カンファレンスに参加 22日 第5回医療政策セミナー開催 24日 第13回定例会開催 28日 第6回医療政策セミナー開催 27日 twitter開始	31日 君津地域保健医療連携・地域医療構想調整会議にオブザーバー参加 ヒアリング調査：9件	新型コロナウイルス感染拡大
2月	3日 市原地域保健医療連携・地域医療構想調整会議に参加 5日 安房地域保健医療連携・地域医療構想調整会議にオブザーバー参加	7日 東葛南部地域保健医療連携・地域医療構想調整会議に参加	12日 千葉地域医療構想調整会議にオブザーバー参加 28日 第14回定例会開催 ヒアリング調査：18件	
3月	7日 千葉医療構想フォーラム（延期）	13日 第15回定例会開催	30日 第16回定例会開催 ヒアリング調査：17件	診療報酬改定にかかわる告示

2020年度

	研究活動		出来事
4月	10日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策本部より当センターに対し、新型コロナウイルス感染症対策への協力要請		定例会開催（毎週月曜日） ヒアリング調査：5件
5月	1日 2019年度活動報告書の公開 7日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第1回）に参加 15日 当センターが亥鼻イノベーションプラザに移転	22日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第2回）に参加 26日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第3回）に参加 28日 千葉大学医学部学生向けに講義	定例会開催（毎週月曜日）

当センターについて

地域医療構想実現に向けた提言

当センターの諸活動

研究業績

1. 当センターについて

	研究活動		出来事	
6月	2日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第4回）に参加 9日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第5回）に参加	23日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第6回）に参加 29日 早稲田大学学生向けに講義 30日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第7回）に参加	定例会開催（毎週月曜日） ヒアリング調査：1件	
7月	6日 国立保健医療科学院にて講義 20日 早稲田大学学生向けに講義	21日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第8回）に参加 29日 第1回「千葉県の産婦人科領域へのCOVID-19の影響」のディスカッション	定例会開催（毎週月曜日） ヒアリング調査：4件	
8月	12日 第1回「千葉県の小児科領域へのCOVID-19の影響」のディスカッション 18日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第9回）に参加	28日 医療ビッグデータを活用した研究セミナー第1回を開催	定例会開催（毎週月曜日） ヒアリング調査：3件	
9月	2日 令和2年度 第1回千葉地域医療構想調整会議に参加 12日 公立小松大学主催の市民公開フォーラム「Society5.0時代の医療」で講演 15日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第10回）に参加	16日 第1回「千葉県の救急科領域へのCOVID-19の影響」のディスカッション 23日 第2回「千葉県の産婦人科領域へのCOVID-19の影響」のディスカッション 25日 医療ビッグデータを活用した研究セミナー第2回を開催	30日 第2回「千葉県の小児科領域へのCOVID-19の影響」のディスカッション 定例会開催（毎週月曜日） ヒアリング調査：3件	管内閣の発足
10月	20日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第11回）に参加	28日 第1回 新生児医療 集団ヒアリング開催	定例会開催（毎週月曜日） ヒアリング調査：4件	令和2年度の研修希望者と研修プログラム（研修病院）のマッチングについて発表
11月	1日 ちばびん総合研究所の会員向け機関誌に記事掲載 4日 当センター紹介パンフレット第3版公開 12日 第2回「千葉県の救急科領域へのCOVID-19の影響」のディスカッション 16日 慶應義塾大学SFCで講義	17日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第12回）に参加 18日 第9回育星塾にて講義 23日 WHO神戸センター主催のフォーラムに登壇 26日 動画公開：医療ビッグデータを活用した研究セミナー第1回	26日 YouTube アカウント開設 28日 第35回熊本県医療情報システム研究会で講演 定例会開催（毎週月曜日） ヒアリング調査：5件	
12月	1日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第13回）に参加 5日 千葉大学文化祭「亥鼻祭2020」で講演	9日 医療ビッグデータを活用した研究セミナー第2回の動画公開 15日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第14回）に参加 16日 横浜市立大学データサイエンス学部で講義	定例会開催（毎週月曜日） ヒアリング調査：2件	第5回NDBデータ公開
1月	1日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第15回）に参加 15日 第2回 新生児医療 集団ヒアリング開催	26日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第16回）に参加 28日 病院新聞に記事掲載	定例会開催（毎週月曜日） ヒアリング調査：3件	15日 厚生労働省が「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（1.1版）」公表 18日 厚生労働省が「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き（初版）」公表
2月	6日 千葉医療構想フォーラム（延期） 8日 NTTコミュニケーションズとの共同研究を発表	9日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第17回）に参加	定例会開催（毎週月曜日） ヒアリング調査：3件	1日 千葉大学病院がコロナワクチンセンターを設置
3月	9日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第18回）に参加	18日 第3回 新生児医療 集団ヒアリング開催	定例会開催（毎週月曜日） ヒアリング調査：4件	

2021年度

	研究活動		出来事
4月	6日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第19回）に参加	20日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第20回）に参加	定例会開催（毎週月曜日） ヒアリング調査：1件
5月	11日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第21回）に参加 11日 次世代医療クロストーク開催（志賀隆氏） 12日 次世代医療クロストーク開催（裴英洙氏） 13日 次世代医療クロストーク開催（高山義浩氏）	14日 次世代医療クロストーク開催（津川友介氏） 17日 次世代医療クロストーク開催（武藤香織氏） 20日 CCDプロジェクト：3者定例会（当センター・ノボ社・旭市） 21日 次世代医療クロストーク開催（國井修氏） 24日 次世代医療クロストーク開催（宮田裕章氏）	25日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第22回）に参加 27日 次世代医療クロストーク開催（小野崎耕平氏） 28日 次世代医療クロストーク開催（市川衛氏） 定例会開催（毎週月曜日）
6月	3日 周産期医療集団ヒアリング開催 8日 ノボ ノルディスク ファーマ、旭市（千葉県）および千葉大学病院、旭市における糖尿病対策に関する包括連携協定を締結 11日 次世代医療クロストーク開催（鈴木康裕氏）	16日 次世代医療クロストーク開催（谷口俊文氏） 22日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第23回）に参加 25日 CCDプロジェクト：3者定例会（当センター・ノボ社・旭市）	28日 次世代医療クロストーク開催（三澤園子氏） 29日 次世代医療クロストーク開催（櫻井陽一氏） 定例会開催（毎週月曜日） ヒアリング調査：2件
7月	27日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第24回）に参加		定例会開催（毎週月曜日）
8月	3日 CCDプロジェクト：3者定例会（当センター・ノボ社・旭市） 11日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第25回）に参加	13日 薬剤耐性（AMR）に関する勉強会を開催	24日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第26回）に参加 定例会開催（毎週月曜日）
9月	3日 CCDプロジェクト：3者定例会（当センター・ノボ社・旭市） 7日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第27回）に参加	19日 研究協力したCOVID-19の治療法研究のためのポスターが「アニものづくりアワード」で銅賞受賞	定例会開催（毎週月曜日） ヒアリング調査：2件
10月	5日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第28回）に参加 7日 CCDプロジェクト：3者定例会（当センター・ノボ社・旭市）	10日 自治医科大学主催「第14回地域医療フォーラム2021」で講演 22日 米本弥一郎 新・旭市長を表敬、CCDプロジェクトの進捗報告	26日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第29回）に参加 定例会開催（毎週月曜日） ヒアリング調査：6件
11月	2日 CCDプロジェクト：3者定例会（当センター・ノボ社・旭市） 9日 第19回千葉大学医工学シンポジウムで講演	12日 NTTコミュニケーションズ 櫻井陽一氏と対談 13日 第13回全国病院事業管理者研修会 テーマ「医療めぐる嵐の中で」で講演	16日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第30回）に参加 定例会開催（毎週月曜日）
12月	3日 脳神経内科の勉強会を開催 12日「ちば医経塾」で講演 15日 横浜市立大学データサイエンス学部で講演 16日 CCDプロジェクト：3者定例会（当センター・ノボ社・旭市）	17日 CCDプロジェクト：糖尿病重症化予防プログラム合同ミーティング（当センター・旭中央病院・旭市） 17日 NTTコミュニケーションズ・谷口俊文氏と鼎談	21日 千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会（第31回）に参加 23日 周産期医療集団ヒアリング開催 定例会開催（毎週月曜日） ヒアリング調査：2件
1月	14日 NTTコミュニケーションズ・小笠原定久氏と鼎談 15日 千葉医療構想フォーラム開催 21日 IBD（炎症性腸疾患）に関する勉強会を開催	28日 CCDプロジェクト：糖尿病重症化予防プログラム合同ミーティング（当センター・旭中央病院・旭市）	定例会開催（毎週月曜日） ヒアリング調査：1件

1. 当センターについて

	研究活動	出来事
2月	3日 CCDプロジェクト：3者定例会 (当センター・ノボ社・旭市) 15～18日 国保ヘルスアップ支援事業 データ分析報告会 25日 CCDプロジェクト：糖尿病重症 化予防プログラム合同ミーティ ング(当センター・旭中央病院・ 旭市) 25日 CCDプロジェクト：糖尿病発症 予防プロジェクトワークショップ	定例会開催(毎週月曜日) ヒアリング調査：1件
3月		定例会開催(毎週月曜日)

